

京都府立図書館 「岡崎」100周年記念



旧館大閲覧室
カウンター



旧館大閲覧室照明



旧館外壁銀杏葉文様



旧館貴賓室
マントルピース

京都府立図書館

100th Anniversary



【集書院】 明治6年(1873年)
京都府が集書院を三条高倉西に開設、現在の府立図書館の前身、また、公立の公開図書閲覧施設としても最初と言われています。(京都府立総合資料館所蔵)



【京都府立図書館(御苑)】 明治31年(1898年)
京都御苑内博覧会協会東館 85 坪を借り受け、「京都府立図書館」が開設されました。(京都府立総合資料館所蔵)

明治6.5(1873)
京都府が集書院を開設

明治31.6(1898)
「京都府立図書館」
京都御苑内に開設

明治37.3(1904)
湯浅吉郎、
第4代館長に就任

明治38.11(1905)
大森知事府立図書館
建築提案・議会可決

明治39.6(1906)
館外貸出開始

1873

1898

1903

1904

1905

1906



【旧館】 明治42年(1909年)
「京都府立京都図書館」、現岡崎の地に蔵書5万冊で開館、設計者は武田五一、平成21年度は100周年に当たります。(京都府立総合資料館所蔵)



【湯浅吉郎(号 半月)】
湯浅吉郎は、明治37年(1904年)第4代府立図書館長に就任、明治42年(1909年)府立図書館が岡崎の地に建設された当時の館長です。大正5年(1916年)に退職するまでの間、図書館の運営などに数々の先駆的業績を残しました。「半月」と号し、新体詩人、平家琵琶奏者としても有名な文人であり、図書館には画家、作家等の往來が盛んでした。(写真前列左が湯浅館長)

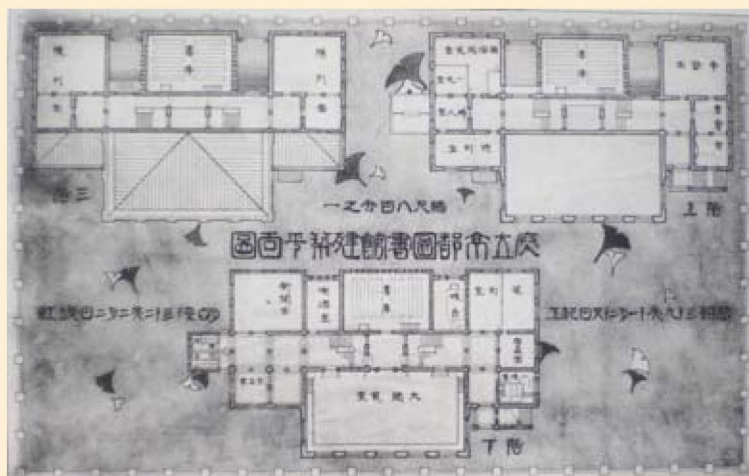
明治36.10(1903)
巡回文庫制度開始

明治37.10(1904)
「和漢図書分類法」
作成・採用

明治38.4(1905)
児童室を設け無料公開

明治三十七八年戦役記念
京都府立
京都図書館
明治三十九年十一月二十五日起工
明治四十二年二月二日竣工

【旧館プレート】
旧館大閲覧室に掲げられていた銘板



【旧館平面図】
煉瓦造り3階建、延べ面積772坪、普通・特別・図案・新聞・婦人・児童の閲覧室を備え、3階に講演室・研究室を兼ねた2つの陳列室がありました。(京都府立総合資料館所蔵)



旧館大閲覧室



旧館書庫



【京都叢書】

「京都叢書」は湯浅吉郎が刊行会長として、大正3年～6年にかけて刊行した郷土誌叢書です。刊行に先駆け府立図書館において明治45年4月1日から3日間、関係図書の展覧会を行っています。「京雀」、「京童」、「京都坊目誌」、「京羽二重」等の図書が陳列され、「京都叢書」に収録されました。

1909

明治42.4(1909)
「京都府立京都図書館」
岡崎の地に開館

1912

明治45.4(1912)
「郷土誌展観」、
京都に関する地理・
歴史関係図書展示
(京都叢書の元資料)

大正元.11(1912)
竹久夢二
「第一回夢二作品展覧会」
開催

1918

大正7.4(1918)
「竹久夢二抒情画展覧会」
開催

大正8.5(1919)
「岸田劉生作品個人展覧会」
(京都展) 開催

大正8.1(1919)
蔵書目録「和漢図書目録」
編纂開始



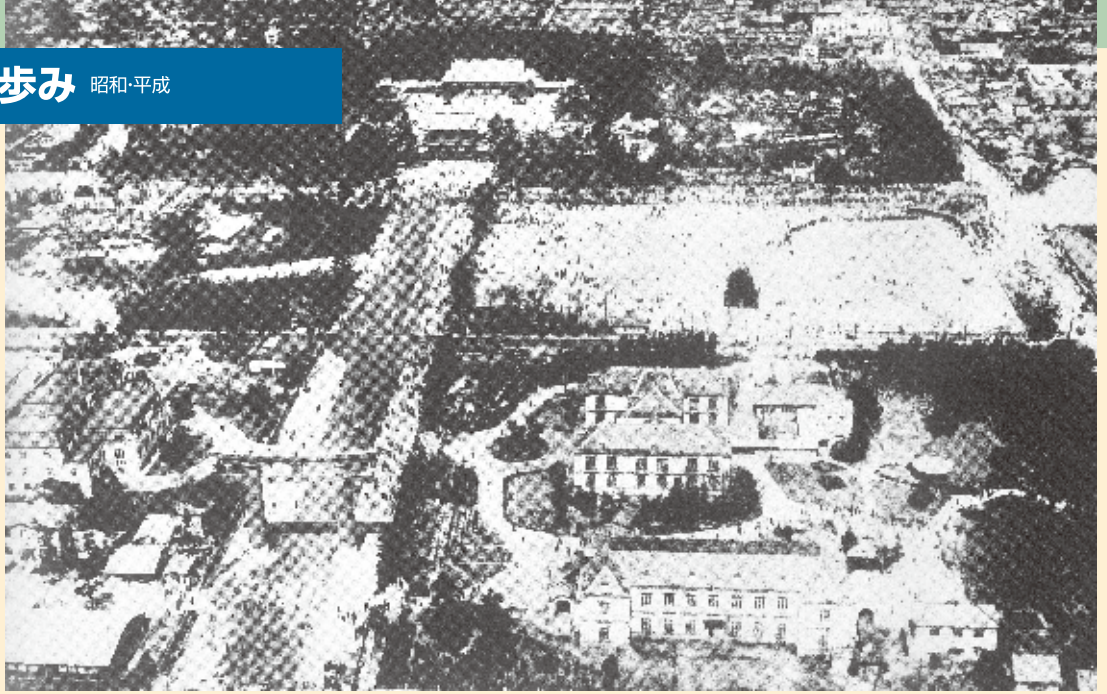
竹久夢二抒情画展覧会、前列右から3人目が竹久夢二



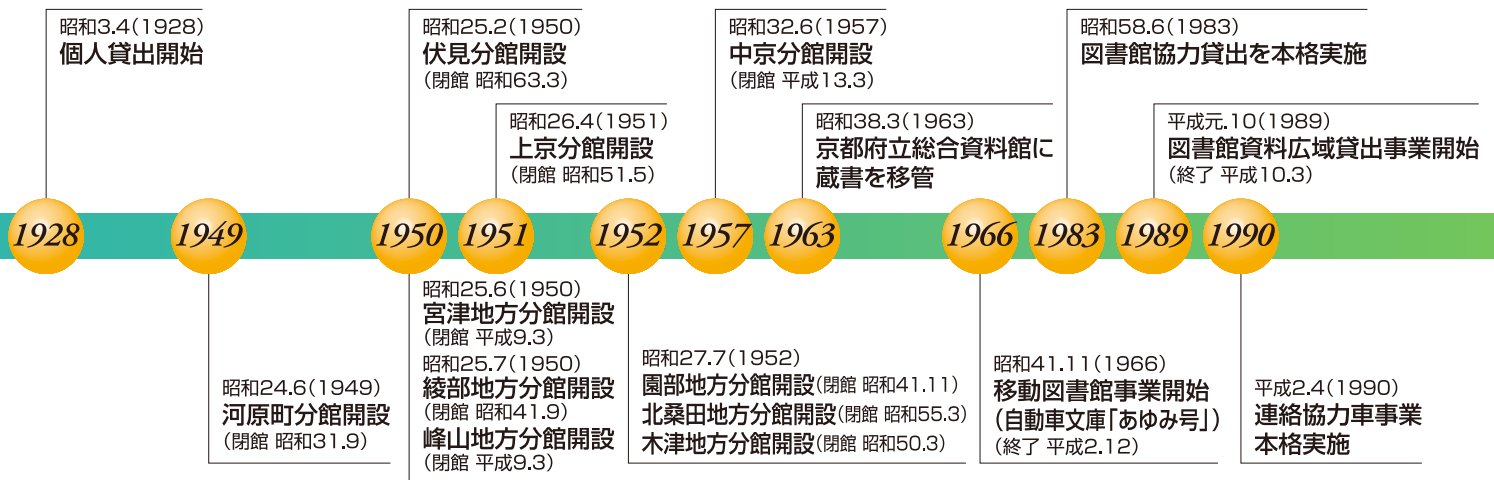
当時の府立図書館は、陳列室を備え美術館的機能もあり、竹久夢二の第1回個展(大正元年)、抒情画展(大正7年)や、岸田劉生個展(大正8年)等の作品展も行われました。



岸田劉生作品個人展覧会(京都展)前列右から3人目が岸田劉生
(写真・ポスター・東京国立近代美術館所蔵)



昭和5年(1930年)頃の岡崎公園



【自動車文庫(あゆみ号)】

京都府内に公共図書館が少なかった当時、昭和41年から府立図書館の自動車文庫(後に移動図書館と呼称)「あゆみ号」が府内各地を運行していました。府内市町村を巡回する「あゆみ号」事業の貸出冊数は、昭和57年度の54,673冊がピークでした。その後、市町村の図書館整備も進み平成2年度で「あゆみ号」事業は終了し、府立図書館の役割は、市町村図書館への支援として引き継がれました。



【クルーガー文庫】

昭和21年~24年に財団法人により運営されていた私立公共図書館といえる施設。米国の占領下に日本各地に開設されたCIE図書館に先立つ無料公開図書館であった。蔵書は京都府教育委員会に寄贈され、府立図書館上京分館で活用されました。現在は、府立図書館が継承保存しています。

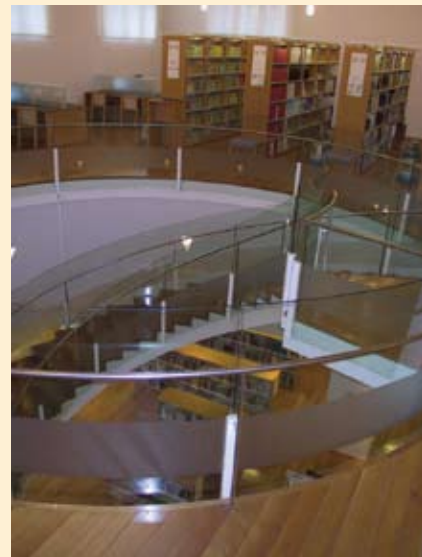


府立図書館の正面には旧館の外壁が保存されています。中央上部には篆書体で「京都図書館」と記され、その上方に銀杏の葉3枚を組み合わせた文様を配しています。銀杏は「葉を本に挿むと紙魚除けになる」といわれ、昔から本に關係の深い木です。今も図書館前庭の東北端に大きな銀杏の木が残されています。

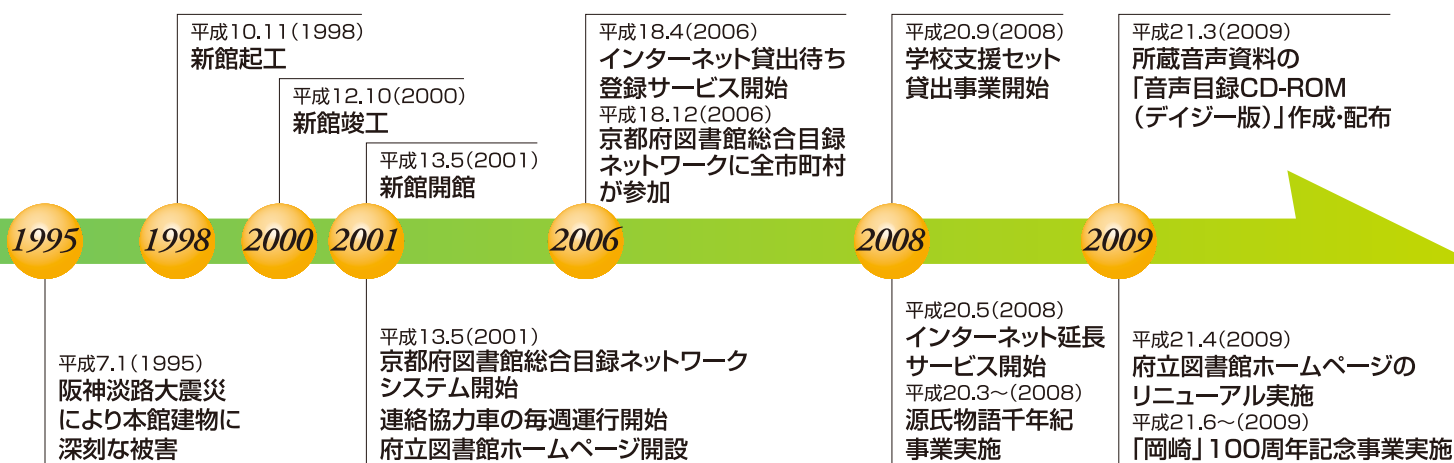
100th Anniversary



平成13年5月に府立図書館はマルチメディアを最大限に活用した21世紀型図書館として、新たに開館しました。



新館 1階・地階



自動化書庫



電動積層集密書庫

【源氏物語千年紀事業】

平成20年度が「源氏物語千年紀」であったことにちなみ、府立図書館では年度を通じて、源氏物語54帖を絵やあらすじで紹介するパネル展や、源氏物語に関する図書資料などを紹介する企画展示等を開催しました。



【ホームページのリニューアル】

利用者の利便性の高いホームページをめざして、府立図書館の情報発信力とアクセシビリティの向上に取り組んでいます。平成21年度からホームページ音声読み上げ・文字拡大機能などを導入し、府立図書館ホームページをリニューアルしました。



新館建物概要

建築面積	1,168.03㎡
延床面積	7,484.38㎡(自転車置場含む)
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上4階・地下2階
収蔵規模	一般開架書架 約10万冊
	自動化書庫 約40万冊
	電動積層集密書庫 約100万冊



【100周年記念事業】

明治42年(1909年)岡崎の地に「京都府立京都図書館」が開館して100周年の節目を記念して、府立図書館の歩みを振り返り、今後は展望する行催事を実施します。府立図書館の事績や歴史をたどる企画展示や記念講演会を企画しました。

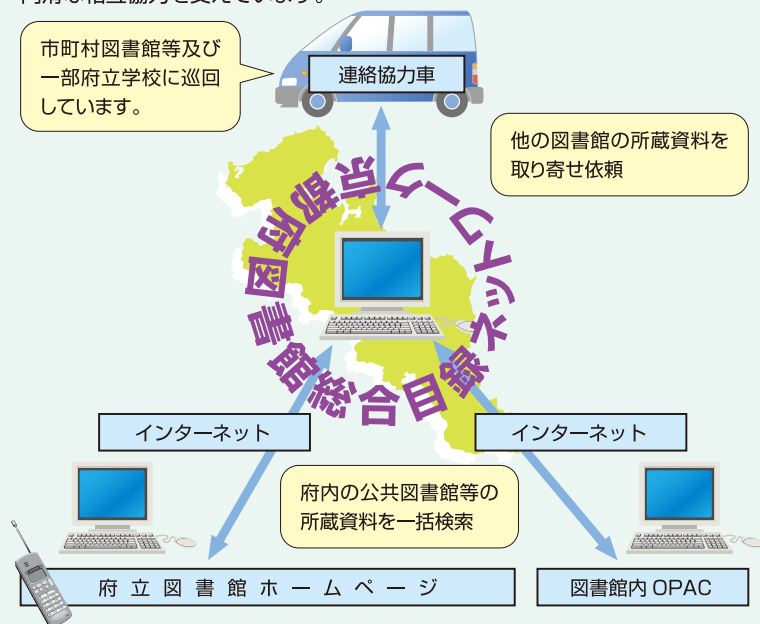
100th Anniversary

府立図書館の運営基本方針

- 1 府内の中核的図書館として、図書館資料・情報の総合的な活用を図ります。
- 2 総合目録ネットワークや各種電子媒体を駆使して、迅速かつ高度な図書館資料・情報サービスをめざします。
- 3 図書館資料・情報サービスによる生涯学習環境の充実をめざして、役割分担を踏まえた市町村支援を行います。
- 4 総合資料館との連携により、京都らしさのある図書館資料・情報を全国に発信します。

京都府図書館総合目録ネットワークシステムの概要

平成13年度から運用を開始した「京都府図書館総合目録ネットワークシステム」(K-Libnet)は、平成18年度に府内すべての市町村が参加し、所蔵資料の一括検索が可能となり、府内公共図書館・読書施設間の相互貸借など、円滑な相互協力を支えています。



市町村図書館支援等の取組

府内市町村の図書館活動を支援するため図書の長期・大量・一括貸出を行う「貸出文庫」事業を実施しています。

また、府内市町村図書館との相互貸借資料や、府立高等学校等との機関貸出資料を搬送する連絡協力車を運行し、図書館連携の物流を支えています。



府立京都すばる高校へ初回貸出
(写真提供 京都新聞社)

学校への連携・支援の取組

府立図書館では平成20年度から、学校教育活動への連携・協力の一環として、調べ学習等に役立つ図書を、ジャンルごとにパッケージにして貸し出す「学校支援セット貸出」事業を開始しました。

府立高等学校では、各授業やレポート作成の調査・参考資料として、また、学校図書館での特集企画などに活用されています。



「学校支援セット貸出」出張内覧会

当館所蔵の教科書

府立図書館では、昭和20年代から昭和60年代までの小学校・中学校・高等学校の教科書を約20,600点所蔵しています。所蔵教科書のほとんどは、京都府総合教育センターが「教科書センター用見本」として保管していたものです。

平成20年度で整理が完了し、検索・閲覧していただけるようになりました。



「音声資料目録 CD-ROM (デジター版)」

府立図書館が所蔵するデジター資料などの音声資料を、視覚に障害のある方がより検索・利用しやすくするため、平成20年度に「音声資料目録 CD-ROM (デジター版)」を作成・配布しました。

この「音声資料目録 CD-ROM (デジター版)」作成を機に、京都府立盲学校との連携も進んでいます。



日本映画シナリオ等の所蔵資料

府立図書館では、日本映画の黄金時代といわれる昭和30年代の映画シナリオ(原本)約1,400点と、日本映画のビデオ及びDVDを約700点所蔵しています。

これらの映画シナリオは大部分が謄写印刷やタイプ印刷で、印刷部数も関係者に渡すだけで希少な上、現在まで残っているものも少なく、映画資料として貴重なものです。

日本初の劇映画が京都で制作されて100年目の平成20年には、京都で撮影された時代劇映画を中心に、所蔵シナリオなどを紹介する企画展示を実施しました。



源氏物語関係の所蔵資料

府立図書館では、京都の図書館として源氏物語に関連する図書の収集に力を入れており、約1,700冊を所蔵しています。

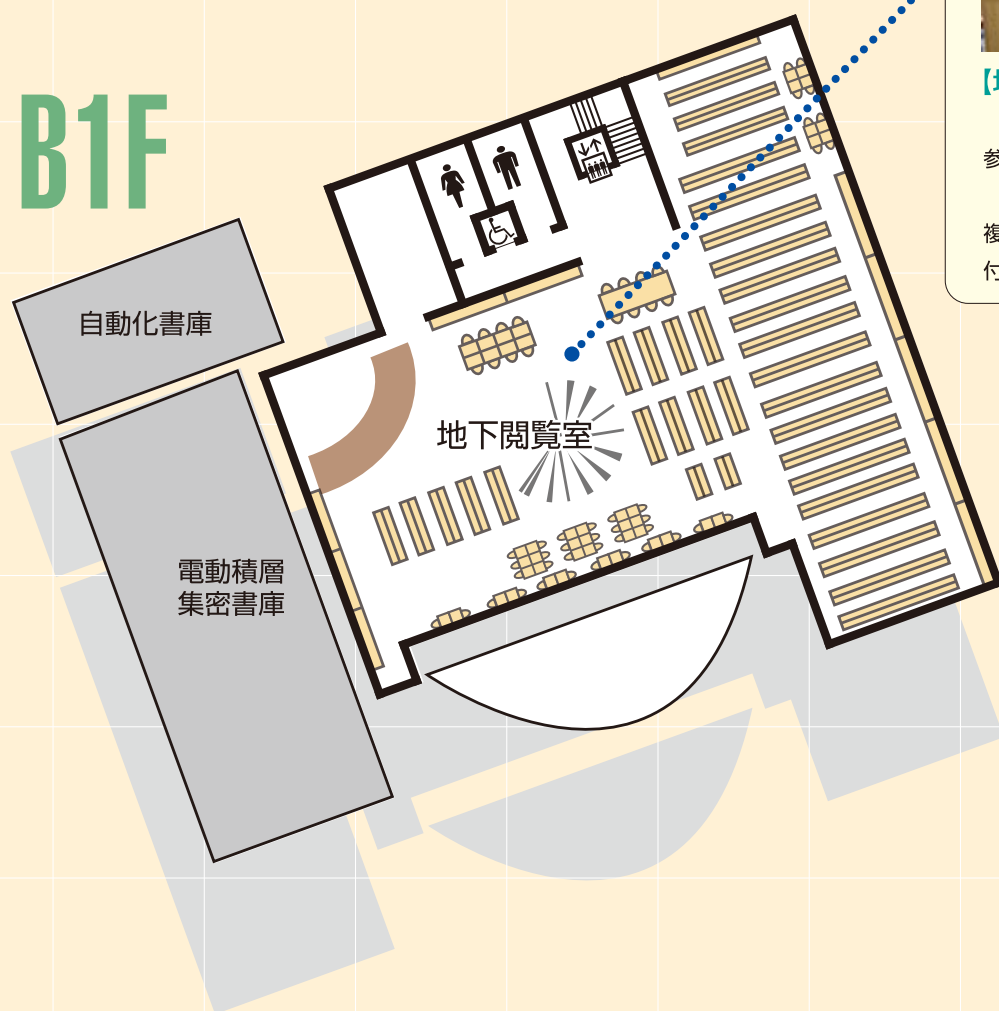
そのうち、現代語訳や解説、研究書など約700冊を特設コーナーに集め、一目でご覧いただけるようにしています。



100th Anniversary

府立図書館は、地階、1階、2階の各閲覧室で、府民のニーズに対応したサービスを展開しています。

B1F



【地下閲覧室】

人文・社会・自然科学系の図書や参考図書、雑誌を配架しています。

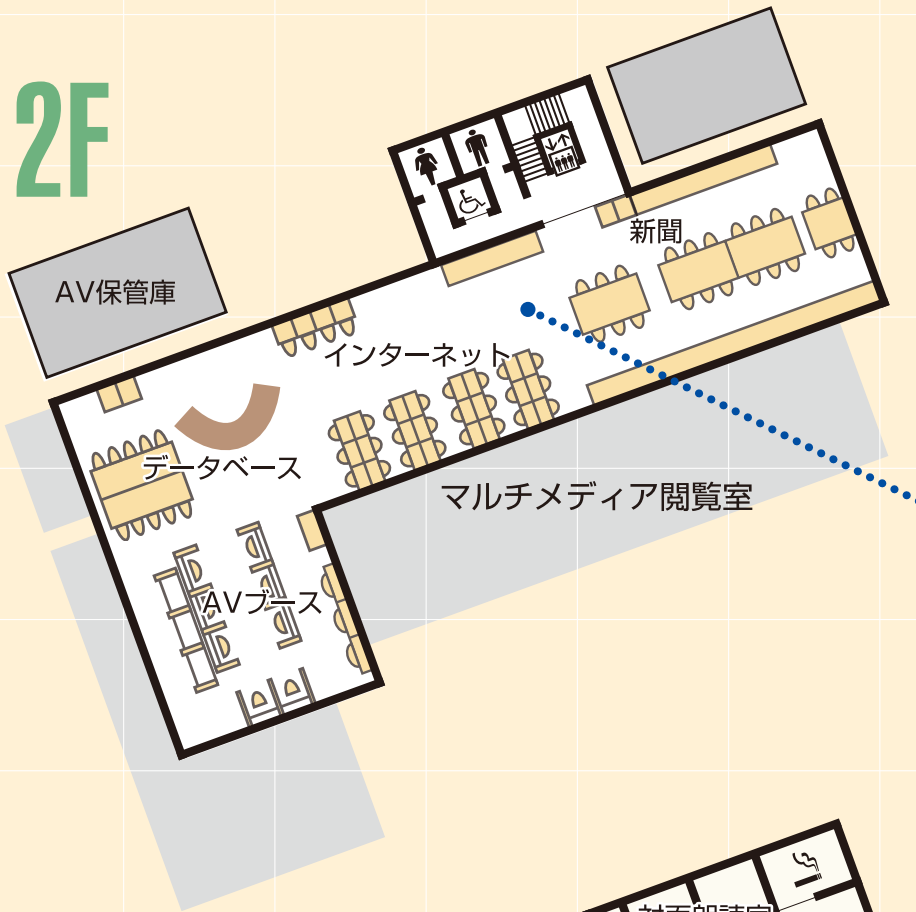
調べものの相談や書庫資料の出納・複写は地下閲覧室のカウンターで受付けています。

こんな検索もできます。

当館2階のマルチメディア閲覧室では、現行法規や最高裁をはじめとする裁判所の判決の実例が検索できる「インターネット版判例体系検索端末」を設置しています。

また、新聞5社の記事が検索できるデータベース端末も利用できるほか、新聞縮刷版、CD-ROM、マイクロフィルムでも過去の記事を調べることもできます。

2F



【マルチメディア閲覧室】

新聞を原紙や縮刷版、マイクロフィルム等で所蔵しています。

また、合計 18 台のインターネット端末や映像・音声資料を視聴できる AVブース、オンラインデータベース（新聞・判例等）も使用することができます。

1F



【1階閲覧室】

日本文学や京都関係資料・全国の電話帳、大活字本を配架しています。

貸出・返却・図書館カードの発行は 1 階閲覧室のカウンターで受付ています。



武田五一 肘掛け椅子1



武田五一 肘掛け椅子2



武田五一 机



武田五一 テーブル(丸)



武田五一 手あぶり付テーブル



武田五一 帽子掛け

【武田五一紹介】

旧京都府立図書館の設計者武田五一（1872～1938）は「関西建築界の父」とも言われ、近代建築界を代表するひとりです。

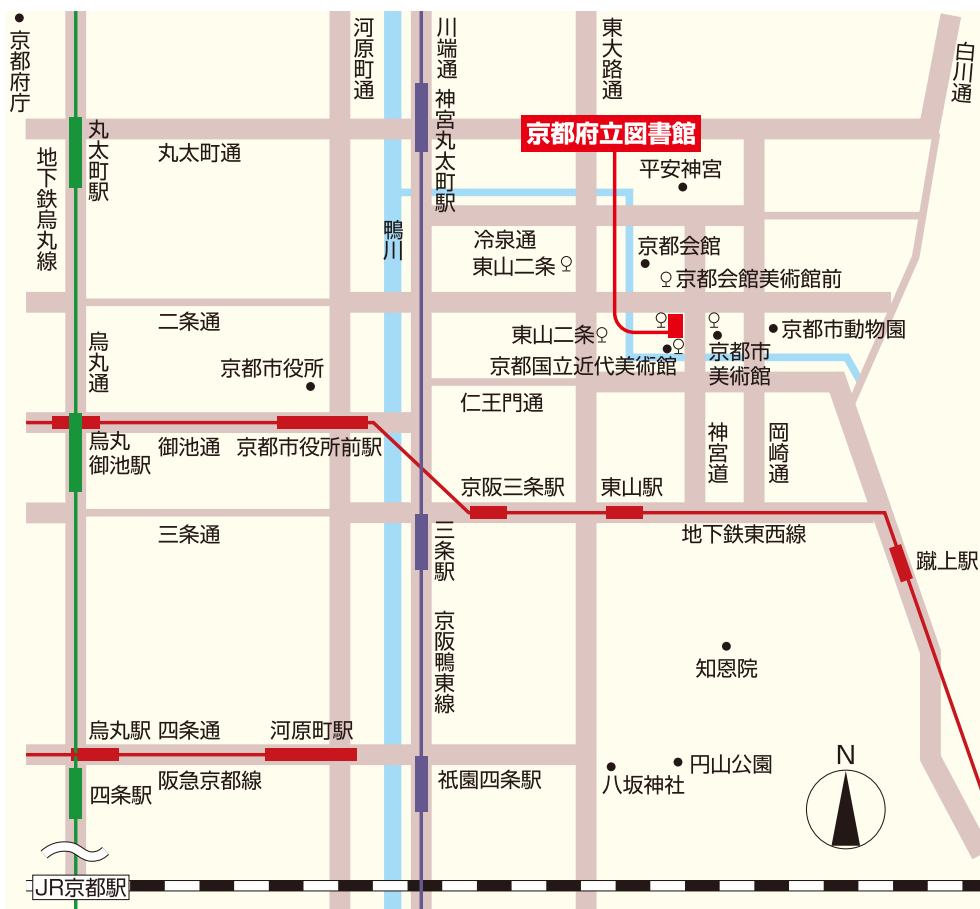
武田五一は建築にとどまらず、室内装飾、工芸など幅広い分野で活躍しました。優れたデザインで数々の作品を生み出し、京都にも多くの業績を残しています。

また、京都高等工芸学校（現：京都工芸繊維大学）、京都帝国大学建築学科（現：京都大学）の教授をつとめ、後進の育成にも力を注ぎました。

府立図書館には、肘掛け椅子などの作品が残されています。



武田五一 コーナーボード



ご利用案内

●開館時間

- ・火曜日～土曜日 午前9時30分から午後7時まで
- ・日曜日 午前9時30分から午後5時まで

●休館日

- ・月曜日(祝日法による休日のときは翌日)
- ・毎月第4木曜日
- ・祝日法による休日
- ・年末年始(12月28日から1月4日)
- ・特別整理期間

●主な交通

- 地下鉄東西線 東山駅下車徒歩10分
- 市バス 東山二条下車徒歩5分
京都会館美術館前下車すぐ

Information

●Opening Hours

- ・ Tuesday-Saturday 9:30a.m.-7:00p.m.
- ・ Sunday 9:30a.m.-5:00p.m.

●Closed

- ・ Monday (the next day, if the Monday is a national holiday)
- ・ The 4th Thursday of every month
- ・ National Holidays
- ・ Year-end and New Year Holidays (Dec. 28-Jan. 4)
- ・ Special Stock taking Periods

●Access

- By Kyoto Municipal Subway Tozai Line-10 min walk from Higasiyama station
- By Kyoto City Bus-At Kyoto-kaikan Bijutsukan-mae bus stop
or 5 min walk from Higasiyama-Nijo bus stop



平成21年8月

京都府立図書館

所在地 〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

電話 (075)762-4655 FAX (075)762-4653

ホームページ URL <http://www.library.pref.kyoto.jp>